

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ダイワボウホールディングス株式会社（証券コード:3107）

【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

■格付事由

- ダイワボウグループの純粋持株会社。傘下のダイワボウ情報システム（DIS）が手掛ける IT インフラ流通事業が中核事業である。DIS は世界中のメーカー約 1,500 社から約 290 万アイテムもの商品やサービスを取り揃える IT マルチベンダーであり、これらを顧客の要望に合わせて提供できる強みを有する。グループでは主に工作機械や自動包装機の製造販売を行う産業機械事業も手掛ける。経営・資本・資金などにおいてグループ会社との一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 従前と比べ収益力が向上している。主力の IT インフラ流通事業における良好な顧客基盤に変化はなく、国内トップである PC 出荷台数の市場シェアの更なる拡大を通じて、事業基盤が一層強化されている。今後、集中的な需要に対する反動が予想されるものの、企業の DX 投資は堅調に推移するとみられ、全国の営業網や取扱商品数を活かした提案により需要を着実に取り込んでいくと考えられる。財務諸指標は、有利子負債の削減および自己資本の拡充が進んでいることから改善基調にある。以上を踏まえ、格付を1ノッチ引き上げ、見通しは安定的とした。
- 26/3 期の営業利益は 450 億円（前期比 28.9%増）と、4 期連続増益かつ過去最高益を計画している。Windows10 の更新需要や GIGA スクール第 2 期の納入による PC 販売台数の増加、PC 周辺機器を含めた IT 複合提案などが貢献する見通しである。27/3 期は前期の需要集中の反動影響を受ける。ただ、中期的には IT 投資ニーズの高まりや販管費のコントロールを背景に堅調な業績推移が予想される。今後、サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI（雷）」を通じた関連サービスの拡充や事業ポートフォリオの変革に伴う事業領域の拡大などの進捗が注目される。
- 業績の拡大に伴い、26/3 期第 3 四半期末の自己資本額は 1,607 億円（25/3 期末 1,520 億円）と着実に増加しており、財務基盤の強化が進んでいる。また、21/3 期末以降、ネット・キャッシュ・ポジションを維持している。引き続き、既存領域への成長投資や株主還元を進めていくほか、M&A に伴う資金負担が生じる可能性がある。ただ、今後のキャッシュフロー創出力、財務運営方針などからみて、現状程度の財務体質は維持されると考えられる。

（担当）大塚 浩芳・中井 康一

■格付対象

発行体：ダイワボウホールディングス株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年2月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「持株会社の格付方法」(2025年4月2日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ダイワボウホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル